

国際平和拠点ひろしま構想推進計画（2022～2024 年度）の策定について

1 要旨・目的

「国際平和拠点ひろしま構想」の取組を具体化する計画として、平成 31 年度に策定した現計画「国際平和拠点ひろしま構想推進計画」（計画期間：平成 31 年度～令和 3 年度）が終了することから、これまでの取組状況を検証するとともに、国際平和拠点ひろしま構想推進委員会等の意見を踏まえつつ、次期計画を策定する。

2 現状・背景

広島県は、国内外の有識者で構成する国際平和拠点ひろしま構想策定委員会から、平成 23 年 10 月に「国際平和拠点ひろしま構想」の提言を受け、平成 25、28 年度及び平成 31 年度に推進計画を策定してきた。

3 概要

(1) 関連計画等

- ・「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」（平和）（令和 2 年 10 月）
- ・「国際平和拠点ひろしま構想」（平成 23 年 10 月）
- ・「国際平和拠点ひろしま構想推進ガイドライン」（平成 24 年 10 月）
- ・「ひろしまイニシアティブ(骨子)」（令和 3 年 3 月）

(2) 期間

令和 4 年度から令和 6 年度の 3 年間

(3) 目指す姿と目標

- 「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」における「目指す姿」と「目標」

【目指す姿（10 年後）】

- 核兵器の存在を前提としない、新たな安全保障政策に基づく多国間枠組みに、核兵器国を含む全ての国の合意、参加を得て、核兵器廃絶の実現に向けた具体的な道筋が明らかになっています。
- 広島で平和を学んだ将来を担う若い世代が、戦争で傷ついた地域の復興を支える取組に参画するなど、様々な形で平和を希求する活動に持続的に関わることで、世界中に共感の輪が広がり、国際社会に影響を与え、安心して暮らせる平和な世界の実現に貢献しています。
- 賛同者の拡大に伴い、平和に関する人材、知識・情報、資金などの資源が、国内外から、広島へ持続的に集積され、広島が、平和に関する諸課題を解決に導く国際平和拠点として世界中から認知され、平和への期待が集う場所としての役割を發揮しています。

【指標と10年後の目標値（R12）】

〔指標〕核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成

〔10年後の目標値〕多国間枠組みに核兵器国を含む全ての国が参加

■推進計画目標（案）

核兵器廃絶に向けた国際的な合意形成を目指し、国際環境・体制を確立する。

(4) 計画体系

項目	施策体系
1 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成	(1)核抑止に替わる新たな安全保障政策づくり (2)国際的な合意形成を目指した多国間枠組みづくり
2 平和の取組への賛同者の拡大と世界への働きかけ	(1)賛同者の拡大と人材育成 (2)多様な主体との連携 (3)広島からの核兵器廃絶メッセージの継続的発信
3 広島が有する経験や資源を生かした復興・平和の構築	(1)復興・平和構築人材の育成強化 (2)放射線被曝者医療国際協力の推進
4 持続可能な平和推進メカニズムの構築	(1)様々な主体が参画するプラットフォームの構築 (2)情報発信機能の充実 (3)拠点構想の推進

(5) 計画（案）の内容

別紙1，2のとおり